

第27回 日・韓・中ジュニア交流競技会 (卓球)

The 27th Japan・Korea・China
Junior Sports Exchange Meet 2019



期 日 : 令和元年8月22日(木)～29日(木)
会 場 : 中国湖南省長沙市長郡高等学校体育館
主 催 : (公財) 日本スポーツ協会

大会スナップ





第 27 回 日・韓・中ジュニア交流競技会

1. 大会名 第27回 日・韓・中ジュニア交流競技会
2. 大会期日 令和元年 8 月 22 日（木）～ 29 日（木）
3. 会 場 中国湖南省長沙市長郡高等学校体育館
4. 宿 舎 華雅国際大酒店（Vaya International Hotel）
5. 種 目 男子団体・女子団体
6. 競技方法 日本・韓国・中国・開催地の4チームによるリーグ戦
7. 競技ルール I T T F 現行ルール
8. 日 程

8月22日（木）	15:00 17:00	集合（ホテル・フロント前） 結団式・指導者ミーティング
8月23日（金）	06:30 09:20 11:25 16:50 18:40	ホテル出発（朝食・バスにて軽食配布） 羽田空港発 上海空港着 上海空港発 長沙空港着・ホテル到着・夕食
8月24日（土）	06:00～08:00 09:00～10:00 09:00～12:00 12:00～13:00 14:00～15:00 16:00～17:00 18:15～19:00	モーニングアップ・朝食 事務連絡会議 練習 昼食 監督会議 開会式（会場：長沙人民会堂） 夕食（ホテル）
8月25日（日） 8月26日（月）	06:00～08:00 08:00～16:00 17:30～19:30	モーニングアップ・朝食 競技（競技ごと昼食） 夕食
8月27日（火）	06:00～08:00 08:00～16:00 18:00～19:00 19:00～21:00	モーニングアップ・朝食 競技（競技ごと昼食） 夕食 閉会式・フレンドシップ交流（宿舎）
8月28日（水）	06:00～08:00 08:00～17:00 18:00～20:00	モーニングアップ・朝食 文化探訪（岳麓書院、橘子州、喜盈門范城） 夕食
8月29日（木）	08:00 10:25 12:25 16:05 20:00 21:00	長沙空港着 長沙空港発 上海空港着 上海空港発 羽田空港着 ホテル到着（ルートイン東京蒲田）
8月30日（金）	08:00	解団式 解散

9. 推薦役員・推薦選手名簿

役 職	氏 名	所 属
団 長	藤井 健	（公財）全国高体連卓球専門部理事
男子監督	島富 義之	（公財）全国高体連卓球専門部理事
女子監督	大野 勇	岐 阜・富田高等学校
男子選手	杉本 和也	福 岡・希望ヶ丘高等学校
	堀川 敦弘	愛 知・愛工大名電高等学校
	松田 歩真	山 口・野田学園高等学校
	後藤 世羽	静 岡・静岡学園高等学校
	福澤 勇太	愛 知・杜若高等学校
女子選手	杉田 陽南	大 阪・香ヶ丘リベルテ高等学校
	福岡 乃愛	兵 庫・三田学園高等学校
	稲吉 美沙	福 岡・希望ヶ丘高等学校
	谷渡 亜美	岐 阜・富田高等学校
	三浦千緋呂	大 阪・四天王寺高等学校

第27回 日・韓・中ジュニア交流競技会 試合結果

<8月25日>

男子

日本		0 - 5		中国	
1	杉本 和也	0	7 - 11 10 - 12 2 - 11 - -	3	Cao Yantao 1
2	堀 川敦弘	0	6 - 11 5 - 11 8 - 11 - -	3	Quan Kaiyuan 2
3	杉本 和也 福澤 勇太	0	9 - 11 5 - 11 5 - 11 - -	3	Xie Congfan Liang Guodong 3
4	松田 歩真	0	3 - 11 8 - 11 5 - 11 - -	3	Xiong Mengyang 4
5	後藤 世羽	1	6 - 11 1 - 11 17 - 15 9 - 11 -	3	Xie Congfan 5

<8月26日>

男子

日本		5 - 0		長沙市	
1	松田 歩真	3	7 - 11 7 - 11 12 - 10 11 - 4 12 - 10	2	Zhou Yi 1
2	杉本 和也	3	8 - 11 11 - 8 11 - 5 11 - 6 -	1	Wang Junjie 2
3	松田 歩真 後藤 世羽	3	11 - 8 1 - 11 11 - 9 11 - 6 -	1	You Shengyuan Zhang Zizhe 3
4	福澤 勇太	3	11 - 8 11 - 9 11 - 7 - -	0	Hu Zuoxiao 4
5	堀川 敦弘	3	16 - 14 8 - 11 11 - 7 12 - 10 -	1	Zhang Zizhe 5

<8月27日>

男子

日本		2 - 3		韓国	
1	堀川 敦弘	3	11 - 7 13 - 15 11 - 8 13 - 11 -	1	HWANG JIN HA 1
2	後藤 世羽	3	15 - 13 11 - 6 11 - 8 - -	0	ON GYEONG MIN 2
3	堀川 敦弘 松田 歩真	1	11 - 9 5 - 11 12 - 14 11 - 13 -	3	NAM SEONG BEEN PARK GYEONG TAE 3
4	福澤 勇太	0	5 - 11 4 - 11 6 - 11 - -	3	PARK GYEONG TAE 4
5	杉本 和也	2	8 - 11 11 - 2 14 - 12 4 - 11 4 - 11	3	KIM JANG WON 5

女子

日本		0 - 5		中国	
1	稲吉 美沙	1	7 - 11 6 - 11 11 - 8 9 - 11 -	3	Zang Xiaotong 1
2	杉田 陽南	0	7 - 11 5 - 11 8 - 11 - -	3	Yang Yiyun 2
3	杉田 陽南 三浦 千緋呂	0	6 - 11 9 - 11 7 - 11 - -	3	Wang Tianji Yuan Yuan 3
4	谷渡 亜美	0	9 - 11 10 - 12 7 - 11 - -	3	Yuan Yuan 4
5	福岡 乃愛	1	11 - 9 8 - 11 7 - 11 4 - 11 -	3	Li Yuqi 5

女子

日本		5 - 0		長沙市	
1	杉田 陽南	3	11 - 3 11 - 9 11 - 7 - -	0	He Shenli 1
2	稲吉 美沙	3	11 - 5 11 - 8 11 - 4 - -	0	Wang Xinran 2
3	稲吉 美沙 谷渡 亜美	3	11 - 8 12 - 10 7 - 11 7 - 11 11 - 1	2	Liu Junya Li Aolin 3
4	三浦 千緋呂	3	11 - 4 12 - 14 11 - 9 10 - 12 11 - 6	2	Zhang Xiaoyu 4
5	福岡 乃愛	3	11 - 5 6 - 11 8 - 11 11 - 7 11 - 8	2	Li Aolin 5

女子

日本		5 - 0		韓国	
1	福岡 乃愛	3	11 - 7 11 - 6 12 - 10 - -	0	YOO SI WOO 1
2	杉田 陽南	3	11 - 1 11 - 5 11 - 4 - -	0	KIM YAE LIN 2
3	稲吉 美沙 福岡 乃愛	3	11 - 9 11 - 7 8 - 11 7 - 11 11 - 7	2	KIM YAE LIN JUNG EUN SONG 3
4	谷渡 亜美	3	11 - 5 12 - 14 11 - 5 11 - 9 -	1	CHOI JI IN 4
5	三浦 千緋呂	3	18 - 16 11 - 3 11 - 7 - -	0	HONG SUN SU 5

第27回日・韓・中ジュニア交流競技会に参加して

卓球総監督 (公財)全国高体連卓球専門部 藤井 健

今年度で27回目を迎える日本・韓国・中国ジュニア交流競技会は、中国の長沙市において8月22日(木)～29日(木)の日程で開催されました。インターハイが8月20日まで行われ、ほとんど休養する時間のないままでの参加ということで、選手のコンディションが心配されましたが、選手全員、スタッフとも体調を崩すことなく元気に参加することができました。

22日は品川に集合し、23日は早朝から移動日でしたが、上海空港で飛行機が大幅に遅れ、結局ホテルへは夜9時過ぎ到着というハプニングから始まりました。

24日は朝から試合会場である長郡高等学校体育館で会場練習を行い、夕方から開会式が行われました。式典では、選手宣誓の日本代表として杉田陽南選手が選ばれ、しっかりと重責を果たしてくれました。また式典後は多くのアトラクションが行われ、帰りのホテルへのバス移動の際は警察による交通規制が行われるなど長沙市あげての盛大なおもてなしを受け、とても感激しました。

25日から試合が始まりました。試合時間や対戦相手などの予定が相次いで変更となり、最初の相手は中国になりました。会場や大会の雰囲気になれない中いきなり強敵の中国と対戦することになり、きちんと力を発揮できないまま試合は流れ、残念ながら男女とも0対5で負けてしまいました。競ったゲームもありましたが、男女とも力の差は歴然でした。

26日は地元の長沙市と対戦しました。地元とはいえ中国のチームであり力のあるチームでした。苦戦の連続でしたが、フルゲームの試合をしっかりと制して男女とも5対0で勝利することができました。

最終日は1勝1敗同士の韓国との対戦でした。結果は、女子は5対0で勝利し、男子は惜しくも2対3で負けてしまいました。その結果、男子3位、女子2位でした。中国の壁はなかなか厚く、破るのは難しいと感じました。男子はメンタル面の強化がもっと必要だと感じました。試合後は閉会式とフレンドシップ交流が盛大に行われました。

28日は朝から文化探訪を行い、29日に無事全員帰国することができました。選手たちは常に時間前行動を徹底し、日本人としての誇りを持って行動したことにより、特にハプニングもない遠征となりました。

最後に、遠征中ボランティア通訳として帯同していただいた大学生の朱婷さんに心から感謝申し上げるとともに、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本卓球協会の皆様に深く感謝いたします。

卓球男子監督 (公財)全国高体連卓球専門部 島富 義之

今大会は4年前に次いで2回目の参加となりました。中国の長沙市での開催ということで期待に胸を弾ませながらの大会でした。試合結果として4年前は2勝1敗でしたが、今回は地元長沙市のみでの勝利で1勝2敗という成績でした。韓国戦では2対0からの逆転負けでしたが選手は持てる力を発揮できたと思います。ただ即席チームと言うことで、チームとしての勝利戦略の徹底不足の感は否めませんでした。インターハイが終わって直後の大会だったので仕方なかったと思います。

やはり中国はプレーが緻密でミスが少なく、後半になればなるほど引き出しの多さが目立ちました。必勝と不敗の精神、技術、戦術の徹底がなされていたように思います。これに対して我が日本は肝心なところでミスが目立ちました。勝利のためには攻守の技術と知力の使い分けが大切であると感じました。また、すぐに台から下がってしまい確率の悪いプレーが勝負所で多かったように思います。これらを修正し日本を代表するプレーヤーになって欲しいと懇願します。

次に、競技会について気がついたことは、まず急に決定事が増えることが多かったです。大きな事ではありませんが、(言葉の問題もあると考えられるけれど)そういうことが多々ありました。選手へ連絡したあとに急に変更になることで特に困りました。次に時間の徹底というところでバラツキが多かったです。詳細な時間をもっと徹底して

文書で流して欲しかったです。食事に関しては、国ごとに料理を変えてそれぞれの国用に味付けをしていただきよかったと思います。部屋に関しては、シャワーの出が悪いところもあり差がありました。一番困惑したことは、多くの選手が宿泊していた建物のエレベーターの稼働が悪く台数も少ないし、時間がかかったことです。その結果、集合時間に遅れた選手への徹底が滞りました。後半はそのことを踏まえ30分前行動をし、遅れないようにしました。最後に、自己管理不足で後半におなかを壊しました。事前に菓の準備や水は部屋のポットでわかつて飲むとかの工夫をしたらよかったと感じました。

今大会を通して、日本スポーツ協会のスタッフの皆さん、大野先生、藤井先生、選手の皆さんに深く感謝をいたします。また事前準備をしていただいた全国高体連卓球専門部にもお礼申し上げます。

卓球女子監督 富田 大野 勇

はじめに、日・韓・中ジュニア交流競技大会に参加させていただき誠にありがとうございました。

私自身は第23回交流大会以来4年ぶり2回目です。今回も団長の藤井先生、男子監督の島富先生に助けられ、とても貴重な経験をさせて頂くことが出来ました。大変勉強になりとても良い経験になりました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

初日はホテルに集合し、各競技監督による顔合わせ、そしてミーティングが行われました。

翌朝ホテルから羽田空港に移動し上海虹橋空港経由で丸一日かけて夜9時過ぎ無事に開催地の中国湖南省長沙市宿泊の華雅ホテルに着きました。

大会初日は中国チームと対戦でした。1番で稲吉が緊張から序盤はサーブのコースが甘く入り中国選手にレシーブ2球目を先取されました。ラリー戦になっても相手の回転量が強いフォアハンドとバックハンドに対応できず2ゲーム連取され、3ゲーム目からようやく相手のボールに少し慣れてきて、しっかりした対応能力を見せこのゲームを取り、4ゲーム目から相手と互角に戦いましたが、残念ながら11対9で敗れました。2番で杉田の対戦相手は裏面粒高のカットマン選手、相手のぶち切れカットに対応できず0対3で敗れました。3番ダブルス杉田・三浦組で戦いました。サーブの変化や多彩なレシーブで得点をしましたが、ドライブの回転に変化をつけられ、ラリーになると得点が取れずに0対3で敗れました。4番に谷渡、5番に福岡を起用しましたが中国選手の回転量のあるドライブと安定性あるバックハンドで徐々に引き離され谷渡は0対3で、福岡は1対3で敗れました。

2日目地元長沙チームと対戦しました。結果は5対0で勝つことができました。それぞれのサーブがよく効いていて、自分たちの攻撃パターンに持っていけました。

3日目は韓国と対戦しました。1番杉田はフォア裏バック表の異質相手と対戦しました。杉田のサーブがよく効き、ラリー戦でも相手を圧倒し3対0で勝利しました。2番福岡は両面とも裏ソフトの選手と対戦しました。福岡のぶち切れバックツツキと回転量ある変化カットで終始相手を圧倒し、3対0で勝ちました。3番ダブルスは稲吉と福岡の異質ダブルスで戦いました。福岡の回転量あるツツキと変化カット、稲吉のドライブのカウンターがよく効き、2ゲームを連取しましたが、3ゲーム目から韓国選手が徐々に福岡のツツキと変化カットに少し慣れてきて厳しいドライブをかけられ、3・4ゲームを連続で取られました。5ゲーム目は出だしが良く、その良い流れで終始点数をリードし、11対7で勝ちました。4番谷渡はサーブの変化とラリーの安定性、5番三浦も同様に巻き込みサーブや多彩なレシーブで終始リードし、それぞれ3対1、3対0で勝利し、韓国には5対0で勝つことができました。

今大会、中国選手は日本選手や韓国選手と比べ1つ1つの技術に安定性を感じました。回転量の多いドライブと多彩なバックハンド、対応能力の高さや戦術転換のタイミング等、見習うところが多かったです。この貴重な経験を生かして世界活躍できる選手の育成に努めたいと思います。

最後になりますが、本交流大会を開催するに当たり、準備・運営にご尽力いただきました全国高体連卓球専門部の方々をはじめ関係各位に感謝を申し上げます。有難うございました。

第27回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会に参加して

希望が丘 杉本 和也

この度は日韓中交流競技会に参加させていただきありがとうございます。今大会は、韓国チーム、中国チーム、長沙チームと試合をしてチームは1勝2敗でした。個人では、シングルス1勝2敗、ダブルス0勝1敗という結果に終わりました。

1日目の中国戦では1番とダブルスに出場しました。1番では中国選手に1ゲーム目からバック対バックで崩されて取られてしまいました。2ゲーム目の前半から自分の得意なサーブ・レシーブとバックストレートで得点できましたが、要所で凡ミスをしてしまい10点で取られてしまい、3ゲーム目は出だしが悪く0-3で負けてしまいました。ダブルスは、福澤と組みました。相手は左と右のペアでラリーが強いペアでした。自分たちは台上から3球目、4球目で崩す戦術で挑みました。しかし、中国選手はレシーブからツツキ、フリックなど長いレシーブから入り自分たちの得意な台上からの展開に出来ずにラリー戦になってしまい0-3で負けてしまいました。

2日目の長沙戦は2番で出場し、チキータからの展開がよく3-1で勝ち、チームも5-0で勝てたので良かったです。

3日目の韓国戦では2-2の5番で出場しました。相手の選手はフォアハンドが強い選手でした。巻き込みサーブが効いていましたが、下回転と横回転の変化が足りずチキータをしてされることが多くラリーになっていました。ラリーの展開ではクロスに打ってしまい、相手に振り回されてしまいました。結果は2-3で負けてしまいました。韓国選手はラリーが強いのもっと台上から積極的に仕掛けて相手を崩すことができれば、勝ちにつながったと思います。今大会では、自分の攻撃力や判断力が他の選手に比べて低い事と、試合の後半になればなるほど自分のプレーができず、消極的になってしまう事が多く、まだまだ海外の選手と差があると感じました。

この経験を生かして、海外選手にも対応できるような選手になりたいと改めて思いました。今回の日韓中交流競技会に参加させていただいた高体連の方々や今回の交流会に関係した全ての方々に感謝を忘れず、これからの大会につなげていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

愛工大名電 堀川 敦弘

この度はタイに引き続き日韓中ジュニア交流競技大会に参加させてもらいありがとうございます。今回の試合は男子のキャプテンをする事になり、よく周りを見る意識をしていて、何事もなくちゃんとした行動ができて終わったので良かったです。普段は自分の事だけ考えればよかったですが、今回はチームの事も自分がやらないといけなくて、する事は少なかったけれど気を配って1つ1つの行動をすることができました。その結果、それが卓球にでて良いプレーができました。

中国チームとの試合は相手のエースと試合をさせてもらいました。一言で言うと強かったです。前半は食いつく事が出来ていましたが、中盤から後半にかけて1つ1つこちらがやっている事に対してミスを誘われ、自分で攻めたとしても、攻守が上手く相手のペースになっていたと思います。しかし、自分からのサービスの時は相手にミスをさせる事や迷わせる事が出来ていたのも、自信になりました。今回はサービスだけの得点率が高くて自分が勝てたのはサービス力があつたからだと思います。これからはサービスだけではなくて3球目や5球目までスムーズに出来るようになってもっといい勝負ができたと思います。

長沙チームは地元のチームだったけど日本のチームと比べると強いチームだと思います。試合をしてみて技術力は高いし、いやらしい事もやってくるので5-0で勝つとは思っていませんでした。これはそれだけ日本チーム一人ひとりの実力があることを示していると思いました。

韓国チームとの試合は前半で自分と後藤が取り3番のダブルスで惜しいところまで行ったけれど勝てませんでした。そして、そのまま4番と5番が取られて負けたので悔しいです。自分の試合は1ゲーム目の出だしはとても良くて一気に流れを持っていく事が出来ました。2ゲーム目も良かったです。中盤に2本高いボールをミスしてから流れが崩れてしまい、そのゲームは取られてしまいました。3ゲーム目もリードさ

れていたけど粘りながら堪えていたので、次は相手の凡ミスさせる事ができ逆転して4ゲーム目も取ることができました。この試合では我慢が必要だと感じました。いつもなら無理やりいついたところを1本入れるだけでだいぶ変わると感じる事が出来て良かったです。この経験は海外遠征にあまり行かない僕にはとても大きい事で、高校生活も残りわずかの中、本当に参加出来て良かったです。これをきっかけに自分を成長させて、これからいい成績を出せるように頑張りたいと思います。

今回は海外遠征に行かせていただき、ありがとうございました。

野田学園 松田 歩真

この度は、日韓中ジュニア交流競技大会に参加させて頂きありがとうございます。自分は2度目の国際大会で、以前よりは戦い方が分かった中でプレーする事が出来ました。

まず中国選手には技術面、戦術面で圧倒的な差を見せつけられました。良いプレーは出ていたものの、大事な場面でやはりミスが出てしまい敗戦に繋がりました。

長沙市との試合は、自分の苦手のカットマンとの対戦でした。前半はただ打つだけになってしまい、相手の変化に対応出来ず凡ミスを繰り返していました。3ゲーム目からは、ミスを減らして繋げていく事で相手のミスも誘う事が出来ました。決めにいくのではなく、チャンスボールを見極める事が試合の中で大切だと改めて感じる事が出来ました。ダブルスは、2ゲーム目に集中力が切れてしまいミスを連発してしまいました。次のゲームからは修正して立ち直すことが出来たので良かったと思います。レシーブはチキータのタイミングが合わず、中々思うようなレシーブが出来ませんでした。その分ラリーでカバー出来たと思います。

韓国選手との試合は、ダブルスのみの出場で相手のエースダブルスと当たりました。自分の卓球が通用するかは不安もありましたが、思い切ってプレーが出来ました。チキータも良いボールが入っていたので、これからの試合ではもっと自信を持って打っていこうと思いました。韓国選手は台上の技術が高く自分達から仕掛けることが難しかったのですが、ラリー戦で勝てたところが良かったと思います。

今回の試合で自分の課題が見えました。それはスピードのある強いボールをただ打つだけでなく、ループなどの山なりの遅いボールも有効に混ぜていく必要があると思いました。海外での試合は日本の試合とまた違った雰囲気の中でとても楽しくプレーする事が出来ました。日本の試合でも楽しくプレーする事を心がけてプレッシャーに負けないくらいの強い気持ちを作っていけたらと思います。また、韓国や中国の選手達と交流を深めることが出来ました。言語や文化が違っても卓球を通じてお互いに理解して、共感出来るのは素晴らしい事だと思います。今回得た経験を今後の自分の人生に繋がられるようにしていきたいと思います。

これから学校のチームメイトにも伝えて、人間的にもレベルが上げられるようにしたいと思います。ありがとうございました。

静岡学園 後藤 世羽

この度は、日韓中ジュニア交流会に参加させていただきありがとうございます。

今まで国際大会に何回か出場させてもらいましたが、外国人の球の威力や球の質についていけなくて自分のプレーができないことが多く、あまり勝てなくて悔しい思いばかりしていたのですが、今回は3回しか試合がありませんでしたが2勝1敗と勝ち越せたので良かったです。

1戦目は中国と対戦しました。自分は5番に出ました。1、2ゲーム目は中国選手のサーブの質や台上の質、戦術に圧倒されました。3ゲーム目からサーブを変えて自分の流れに持っていけたのですが、最後は相手の戦術の変化に対応できずに負けてしまいました。

2戦目は、長沙市と対戦しました。自分はダブルスで出ました。相手はラリーやハーフロング処理などがうまく、少し台から出たら先にドライブをかけられてしまったことがありました、しかし、自分たちの得意とする台上で相手をコントロールして勝てたので良かったと思います。

3戦目は韓国と対戦しました。韓国戦では2番に出ました。日韓交流会の時に何回かやったことある相手に、その時は負け越していたのですが今回は3対0で勝つことができたので良かったです。日韓交流会の時よりも先に攻めることを意識して試合しました。前について、早い打点で打てたので良かったです。

中国選手も韓国選手もラリーや下回転打ち、ハーフロングがとてもうまかったのですが、台上はそこまで

繊細ではなかったもので、自分の台上プレーには自信が持てました。ラリーや下回転打ち、ハーフロングのうまさは中国選手や韓国選手に見習っていきたいと思います。今回新しい課題もたくさん見つかったので良かったです。中国選手には力の差を見せつけられたのもっと強くなりたいと思いました。

また、高体連の方々に感謝し、これからもっといい結果が出せるように頑張っていきたいと思います。

杜若 福澤 勇太

この度は日韓中ジュニア交流競技大会に選んでいただきありがとうございます。なかなか試合のすることのできない外国人の選手と試合が出来てとてもいい経験になりました。今大会は韓国チーム、中国チーム、長沙チームと試合をしてチームでは1勝2敗、個人ではシングルス1勝1敗、ダブルス1敗という結果に終わりました。

中国戦ではダブルスに出場し0-3で負けてしまいました。中国選手の台上の質の高さや、中陣からのドライブの回転量などに圧倒されることが多かったです。特に勝負どころで自分たちのチキータに対しての待ちや、サーブが出てしまったボールに対しても見逃さずに打ち抜かれてしまい、自分達の甘さや勝負どころでコースの選択をもう少し考えなければいけないと思いました。

長沙戦ではシングルスに出場し3-0で勝つことができました。この試合では自分のプレーをすることが出来て良かったと思います。チキータからの大きな展開に持っていくことができました。相手がロングサーブを出してきた時、同じミスは何回もしてしまうことがありました。同じミスをしないよう試合中で調節していけるようにしていきたいです。

韓国戦でもシングルスに出場し相手のエースに0-3で負けてしまいました。この試合は自分の調子が悪く相手のペースで試合を進めてしまいました。

韓国、中国と試合をすることは貴重な機会で、いろんな選手のプレーをみてその選手達から得るものもありました。自分はラリーが得意で、ラリーになると海外選手はパワーがあるので打ち負けることがあり、その時にどうするか、どう崩すかを考えないと海外選手との試合に勝つことは厳しいと感じました。どうしたら相手に攻められないかなど、頭を使った卓球をこれからしていきたいと思います。今回の日韓中ジュニア交流競技大会に参加して、他の選手にはできない経験や収穫がありました。この交流会に選んでいただいた高体連の方々に感謝の気持ちを忘れず、これからの大会でいい成績が残せるように、努力します。今回は本当にありがとうございました。

香ヶ丘リベルテ 杉田 陽南

今回、日韓中ジュニア交流競技会に参加させて頂き、ありがとうございました。今回の交流試合では、団体戦2勝1敗、シングルス2勝1敗、ダブルス1敗という結果でした。私自身、何度か海外の選手と試合をした事がありますが、この大会は初めてだったので初日は少しプレーが硬くなってしまいました。慣れていくうちに良いプレーも増えていったので良かったです。

1日目は中国と試合をして、2番と3番ダブルスに起用して頂きました。2番では、相手も強かったのですが、自分の良い所を出せないまま負けてしまい対応力が低いと感じました。ダブルスでは、初めてのペアリングでしたが良いプレーもありました。それ以上に相手も良いプレーがあり、特に1点が欲しい場面で相手の強さを感じました。コースを厳しく打つ事と、体勢を崩さないようにするという課題も見つけました。

2日目は地元の長沙と試合をしました。1番で起用して頂きました。前日に負けてしまったので、不安が少しありましたが結果として3-0で勝利する事が出来て、チームも5-0で勝てたので良かったです。サーブレシーブで先手を取れて、自分のペースで試合をすることが出来ました。

3日目は韓国と試合をして、1番に起用して頂きました。韓国とは互角の試合になると思い、1番で勝つて勢いを作りたいと思い試合に入りました。点数は競った試合でしたが、スコアは3-0で勝つことが出来て、チームとしても5-0で勝てたので良かったです。韓国の選手は一定のリズムで試合をすると強いので、緩急を使った戦術が上手くいきました。今回、2年生で参加させて頂いたのですが、全試合に起用して頂き、多くの事を学ぶことが出来ました。今大会を通じて見つかった課題や反省点を、日本に持ち帰って今後の大会に生かしていきたいと思います。このような貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

この度はこのような交流会に参加させて頂きありがとうございました。

試合の面では、初戦の中国戦では、1 ゲーム目をとることができ、2 ゲーム目もリードしていたのですが、1 本取りたい場面で凡ミスをしてしまったり相手に決められてしまったりして、そのような面で中国との差は感じました。しかし、チャンスはあったと思うので、自分に自信がつけました。

長沙戦では自分のプレーが出来ず、イライラしてしまうことがありましたが作戦を変えて勝つことが出来たので良かったです。

韓国戦では相手の嫌がる作戦を徹底することができ隙を見せずに勝つことが出来ました。

この交流会に参加する前は国際試合には出たことはありましたが、他の国の選手と話をしたり関わったりすることが少なかったです。しかし、この交流会では試合をする時以外にコミュニケーションを取る機会が多く、身振り手振りで言いたいことを伝えるなど、他の国の選手との関わり方を学びました。宿泊するホテルも他国の選手や違うスポーツの選手と同じだったので、初めは怖さや戸惑いを感じることも多かったのですが、挨拶をしたり話したりするうちに他の国の選手や違うスポーツの選手と交流を深めることができ、他の国の選手でも考えていることはだいたい同じだということが分かりました。

また、ボランティアで参加して下さっていた中国の現地の方に感謝すべきだと思いました。言葉が通じなくて困っている時はボランティアの日本語を話せる方に通訳をしていただき、ボランティアにも関わらず、朝早くから会場の準備や飲み物を準備したりなど快くして下さいととても助かりました。ボランティアの方がいなかったら、この大会は成り立たず、自分も試合に集中することができなかったと思います。

これからこの経験を活かし、日本だけでなく世界で勝つことができる選手を目指すと共に、様々な国の選手と関わる機会があれば積極的に交流をしようと思います。

この度はこのような貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。またこれからも国際大会に出場出来るように、1 日 1 日全力を尽くして練習していきたいと思っています。

希望が丘 稲吉 美沙

今回は日韓中ジュニア交流競技会に参加させて頂き、ありがとうございます。日本、韓国、中国のトップレベルの選手が集い、この交流会を通して自分自身とても成長することが出来ました。

1 日目の中国戦では1 番で出させて頂き 1 - 3 で敗れてしまいましたが、とても収穫の多い試合となりました。卓球台、ボール、床など日本とは環境が異なり、その中でも試行錯誤しながら戦うことが出来ました。日本人と中国人はそれほど力の差は無いですが、あと一本の強さが違うと感じさせられました。

2 日目の地元・長沙戦では2 番シングルスと3 番ダブルスに出させて頂きました。シングルスではカットマンと対戦し 3 - 0 で勝つことが出来ました。この試合ではフォアドライブには緩急を付け、相手を崩して強打するという攻撃展開を最後まで貫き通すことが出来たのが勝因だと思います。3 番ダブルスでは、谷渡さんと組ませて頂きましたが、見事 3 - 2 で勝利することが出来ました。初めて他校の人と組みましたが、お互いに信頼し合い、自分の特徴を十分発揮出来ました。

3 日目の韓国戦では、3 番ダブルスで人生初のカットマンの福岡さんと組ませて頂きました。初めは出来るかどうか不安でしたが、しっかり自分の役割を果たすことが出来たので 3 - 2 で勝つことが出来ました。

交流会を通して自分の新たな課題は、リードしている時にさらに集中力を高め、しっかりと勝ち切ることです。リードしている時こそ集中力を高め一気に得点していかなければ、全てのゲームに影響してくることも経験出来ました。この新たな課題発見と経験が、これから更なる自分の成長に繋がるよう努力し続けたいと思います。

卓球競技以外のスポーツも行われていたので、よりたくさんの人とコミュニケーションを取ったりして、自分から話す勇気が出せるようになりました。そして逆に中国、韓国の人から話しかけられた時は、何を伝えようとしているのかを読み取ろうとし、自分が分かる最低限の英語で会話することも出来ました。

このように今回の交流会では卓球競技だけでなく、本当にたくさんの経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

この度は日韓中ジュニア交流競技会に参加させていただきありがとうございます。

今回の日韓中交流試合を通して、あまり出来ない経験ができてすごく勉強になりました。日本の強いメンバー達と団体戦を組めてとても楽しかったです。海外の試合に参加するのはこれで2回目ですが、日本で試合するのは少し雰囲気が違って、日本とはまた違う緊張感がありました。自分はまだまだ経験が少ないほうだと思うので、緊張せずに向かっていく気持ちで楽しく試合に臨みました。

1日目の中国との試合では、リードしていたけど相手に挽回されて負けてしまい、もったいない試合をしてしまいました。やはりそういう所が強い選手は勝ちきれないといけないし、相手の中国人選手の勝負強さを見習いたいと思いました。

2日目の長沙との試合では、1番で稲吉さんがカットマンと試合をしていて、戦術がすごく良くてとてもいい勉強になりました。私も練習に取り入れて、試合で実践してみようと思います。3番は稲吉さんと自分のダブルスで、普段はお互い左とダブルスを組んでいるのでちゃんと動けるか心配でしたが、試合中ふたりで戦術を話し合ったりして、息の合ったダブルスができて勝てたので良かったです。もう組むことのないダブルスだと思いますが、とてもいい経験でした。

3日目は韓国との試合で、自分はバックが表ソフトの人と対戦しました。自分のレシーブミスが多くて1ゲーム落としてしまいました。レシーブミスした後も同じミスを連続で何回もしてしまって、ミスの修正がすぐ出来なかったのが反省点です。こういうミスの切り替えがすぐ出来ないことが試合でよくあるので、もっと試合をたくさんして直していけるようにしたいです。

今回の交流試合を通して、中国人選手や韓国人選手や同じ日本チームの選手から学んだ事をこれからの練習や試合で活かして行き、今回の交流試合だけでなく、またこのような海外の試合に参加できるように、日本でもっと結果を出して行けるように日頃の練習を一日一日頑張ります。ありがとうございました。

四天王寺 三浦 千緋呂

今回、日韓中交流大会に参加し、海外の人と交わることで色々なことを学びました。

まずは、試合をしていて、普段の日本人の選手とは違うボールの質やピッチの速さを体験し、これからの自分の卓球の技術に足りないものをたくさん得ることが出来ました。また、いつも敵同士の選手と団体を組んで、他国の選手と試合するのは初めてで、私にとってとても新鮮な体験でした。

中でも中国の選手と試合ができたのはとても大きい刺激になりました。今、中国の選手が世界で1位の實力を持っている中、日本人選手も中国人選手に少しずつ技術が追いついてきています。そのような状況の中での今回の試合は、あと少しで1ゲームがとれるという所でどこか足りないものがあって1ゲームもとれず、やっぱりそこに中国人選手との差があると感じました。試合をしている中で、これを真似したいという技術がたくさんあったので、帰国してからどんどん実践して自分のものにしたいと思いました。

卓球面以外では、他国の人と話をして、言語が違って思うことは同じだったり、分かり合えたりして、とても嬉しい体験をしました。はじめは、中国人は話し方が怖くて、いつも怒っているような感じがして、話すのに躊躇していましたが、お店に行ったりしても親切に翻訳のアプリを使って商品を説明してくださったり、私がいっぱいお札しか持っていなかったのを察して、小さいお札に両替して下さったりして、心の優しい方ばかりで、中国に対する見方が大きく変わりました。試合会場でも、日本語で一生懸命書いてあるポストカードを頂いたりして、わざわざ私たちの為に用意してくれたことに、とても感動しました。

今回、私たちのスケジュール管理、サポートをして下さった通訳の方を含めた色々な方々への感謝の気持ちを忘れず、この交流大会で学んだことを帰国してからも生かしていきたいです。またこのような機会があった時に今回以上にたくさんのものを得られるように、言語やマナーについて知っておきたいです。

今回、このような機会を頂き、本当にありがとうございました。